

大野地区海岸災害復旧工事の「安全祈願祭」を開催！

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

平成 26 年 5 月 8 日、陸前高田市広田町の大野海岸において、災害復旧工事の本格着手を前に安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭は、大野地区海岸災害復旧（23 災 593 号）工事の受注業者である株式会社佐賀組（大船渡市）が主催し、工事関係者をはじめ、地権者の方々など約 20 名が出席して行われました。東日本大震災津波により犠牲になられた方々へ黙祷した後、工事の安全と早期完成を祈願しました。

安全祈願祭の後には発注者を代表し、大船渡土木センターの佐々木一彦副所長が、事業用地の提供にご理解をいただいた地権者の皆様への感謝と、当地域の早期復旧に向けて、株式会社佐賀組と一体となって取り組んでいきたい旨を挨拶しました。

位置図



陸前高田市



大野地区海岸

安全祈願祭の様子



大野地区海岸の概要

大野地区海岸の砂浜には多くの海浜植物が群生するなど自然環境に恵まれ、夏には清澄な海水浴場として県内外から多くの海水浴客に利用されていました。また、背後には、集落や県道大船渡広田陸前高田線などがありましたが、平成23年3月11日の東日本大震災津波により、これら集落は壊滅的な被害を受けました。

海岸付近の津波痕跡（岩手県調査）では、最大痕跡高 T.P.+14.6m と既設防潮堤高 (T.P.+8.5m) を大きく越える津波であったことが確認されています。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



被災前（平成22年3月14日）



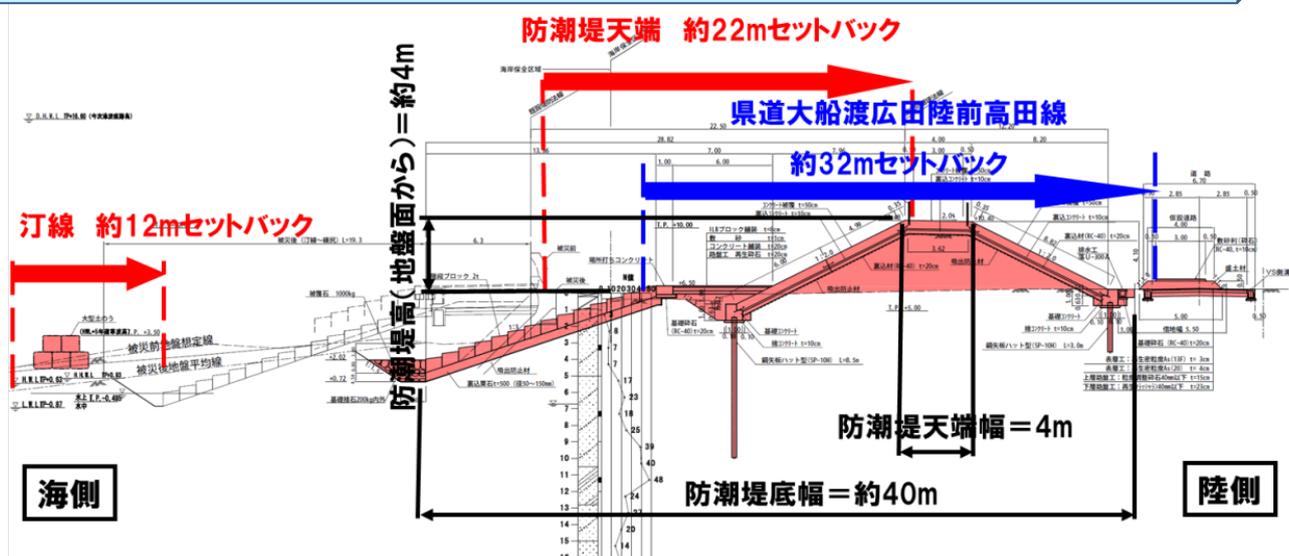
被災後（平成23年3月29日）

災害復旧工事の概要

県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」での審議を経て、大野湾の新計画堤防高を T.P.+12.8m と設定し、平成23年10月に公表しましたが、平成24年5月から6月にかけて行われた地元協議により、大野地区海岸と六ヶ浦漁港海岸は、個別防護高である T.P.+10.4m で復旧することとしました。

また、震災による地盤沈下で狭くなった砂浜を復元するために、防潮堤を陸側に下げる（セットバックする）計画としています。

これらの災害復旧工事は、平成28年3月の完成に向けて、鋭意進めていきます。



大野地区海岸の標準横断面図